

令和4年度 共同募金運動のご報告

共同募金実績額 (令和5年3月31日現在)

募金種類	募金説明	赤い羽根募金実績額	年末たすけあい募金実績額
戸別募金	自治会・町内会や民生委員の協力で、募金ボランティアが各家庭を訪問していただいた寄付金	9,684,716円	7,886,067円
街頭募金	街頭で通行人の方に呼び掛けて、いただいた寄付金	750,824円	
法人募金	企業や法人を中心に、ダイレクトメール方式や訪問などを行い、いただいた寄付金	1,514,500円	
校内募金	区内小・中学校、高等学校から協力していただいた寄付金	526,381円	
職域募金	会社・施設などの社員・職員からいただいた寄付金	991,452円	240,165円
イベント募金	川崎フロンターレとの協働による試合会場での募金活動等、イベントを通じていただいた寄付金	12,200円	
その他募金	区内施設のご協力により設置させていただいている募金箱や個人団体からいただいた寄付金	176,439円	1,000,011円
	合計	13,656,512円	9,126,243円

令和4年度は昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響を受けながらも、2年ぶりに街頭募金を実施され、従来の共同募金運動のかたちを少しずつ取り戻した年となりました。変化の多い情勢下においても、戸別募金などを通じて多くの地域の皆様より変わらぬご支援をいただきまして誠にありがとうございます。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、神奈川県内および川崎区内の地域福祉活動のために大切に使用させていただきますので、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

令和4年度末 たすけあい運動「支援金」配分の結果について

12月に実施されている年末たすけあい募金は、集めた募金をすべて川崎区内の地域福祉活動に活用しています。

令和4年度の募金の一部を活用し、福祉ニーズを持つ世帯へ民生委員児童委員を通じて、年末たすけあい運動「支援金」5,000円を413世帯に配布しました。交付世帯の内訳は次のとおりです。

支援金を受け取った方々は大変喜んでおられました。年末たすけあい募金にご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

対象世帯	件数(世帯)
ひとり親世帯で児童扶養手当の給付を受けている世帯	24
身体障害者手帳1・2級の方がいる世帯	258
療育手帳Aの方がいる世帯	94
精神障害者保健福祉手帳1級の方がいる世帯	9
介護認定が要介護4・5の方がいる世帯	45
災害遺児等福祉手当の給付を受けている世帯	1
公害病認定患者の方がいる世帯	6
重複	24
合計	413

譲ります・譲ってください 福祉用具リサイクル事業

川崎区内にお住まいの方を対象に、車いす、シルバーカー（手押し車）、介護用ベッド、歩行器等の福祉用具を譲りたい・譲って欲しい方との間で無料でご紹介をしています。



ポータブルトイレ (A-109)



ポータブルトイレ (A-111)



浴室用いす (A-112)

現在譲りたい方から、ポータブルトイレ2台、浴室用いす1台の登録があります。

福祉用具を譲りたい、譲って欲しい方は川崎区社会福祉協議会までご連絡ください。

※リサイクルできるものは、安全かつ衛生上問題なく、修理を必要としないものに限りです。

ほほえみコーナ

JFEスチール京浜労働組合様よりご寄付をいただきました

令和5年2月17日(金)、大島老人いこいの家で贈呈式が開催され、JFEスチール京浜労働組合様より大島老人いこいの家にスタッキングテーブル4台をご寄付いただきました。

大切に使用させていただきます。心より御礼申し上げます。



川崎区の役立つ福祉情報をお届け



第115号
令和5年5月

●川崎区社会福祉協議会

発行

川崎区社会福祉協議会
川崎区富士見1-6-3読売川崎富士見ビル B-1 棟 6階
電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741
Email info@kawasakikushakyo.or.jp
川崎区社協ホームページ <https://www.kawasakiku-shakyo.jp/>

ホームページ



【発行人】
岸 茂信
【編集人】
編集委員会

目次

1. 令和5年度賛助会員の募集について
2. 令和5年度区社会福祉協議会事業計画・予算チャレボラ2023開催のお知らせ
3. 令和4年度ボランティア講座・交流会開催の報告
4. 子どもの食糧支援食糧でつなぐか輪さき区
5. 各地区社協の事業内容
6. 地区社協トピックス
7. 中央第二地区社会福祉協議会
大師第二地区社会福祉協議会
8. 令和4年度共同募金のご報告
たすけあい運動「支援金」配分の結果について
譲ります・譲ってください
福祉用具リサイクル事業
ほほえみコーナ

紙面に関するお問合せはこちらまで

より住みよいまちにしていけるために

令和5年度賛助会員の募集について

あなたも地域福祉を支えるサポーターになりませんか？

川崎区社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めており本会の事業にご賛同していただき、資金面で社協の事業を支援して下さる賛助会員を募集しています。

会員の皆様からいただく会費は、皆さんがお住いの地域の身近な福祉活動に役立てられており、地域の助け合い活動、こどもや高齢者、障害のある方、ボランティア活動の支援など、川崎区の福祉活動を支える貴重な財源となります。個人・企業・団体で加入ができ、一口1,000円以上からご協力をお願いします。

「何か地域の役に立ちたいけれど仕事が忙しくて・・・」そんなあなたも賛助会員となって、川崎区の地域福祉を支えるサポーターになりませんか？

賛助会費のつかい道



福祉大会での講演会の様子



防災訓練での災害ボランティアセンターの広報啓発

賛助会費は、8割をご協力いただいた地域の地区社協活動に、2割を区社協事業で活用させていただいております。

地区社協活動

- ・広報誌発行
- ・地域福祉懇談会の開催
- ・ふれあい会食の実施 など

区社協事業

- ・社会福祉大会の開催
- ・車いすやこどもにこにこグッズの貸出
- ・災害ボランティアセンターの広報啓発 など

詳細はホームページをご覧ください。

会員になるには

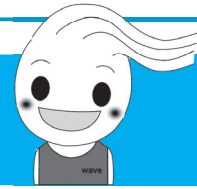
現在会員となっていていただいております皆様には、地域の方が今年度の協力依頼にお伺いいたします(お住いの地域により時期が異なります)。

これから会員になってくださる方は川崎区社会福祉協議会までご連絡ください。

その他、ボランティア等で、福祉のまちづくりに参加していただくこともできます。お気軽に問合せください。

川崎区社会福祉協議会 ☎044-246-5500

川崎市川崎区社会福祉協議会 令和5年(2023)度事業計画



重点事業

① 地区社協活動の支援・援助

地区社会福祉協議会が展開する見守り活動・居場所づくり活動の支援を通じて、身近な福祉活動の推進を図ります。

② 総合相談支援事業

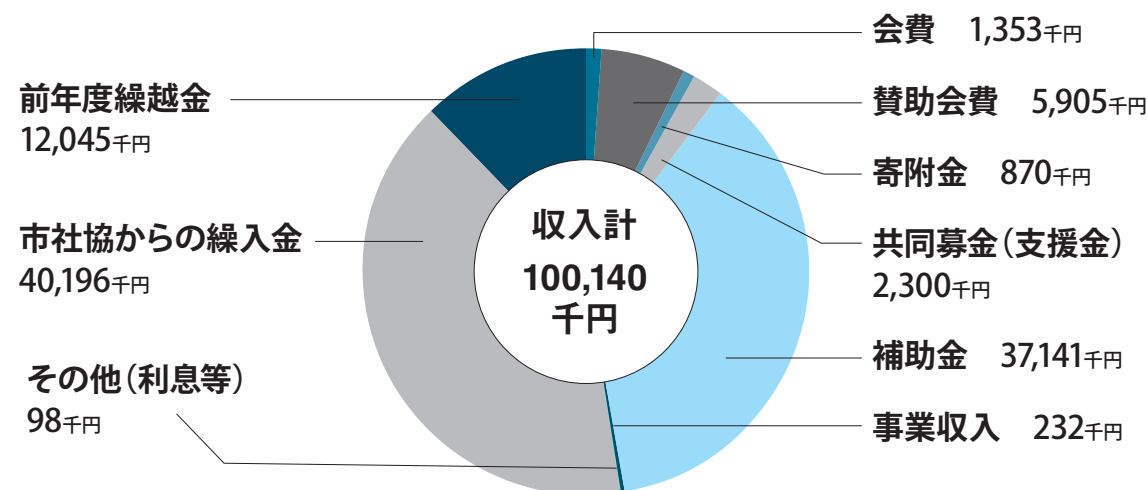
地域における生活課題の解決や孤立防止に向けた取組を行います。
一機関では対応しにくい複合的な課題については、住民や関係機関と連携・協力し、課題解決を目指します。
今年度は、川崎市と連携し、川崎市社会福祉協議会と共に子どもの食糧支援を推進していきます。

③ 災害支援の取組み

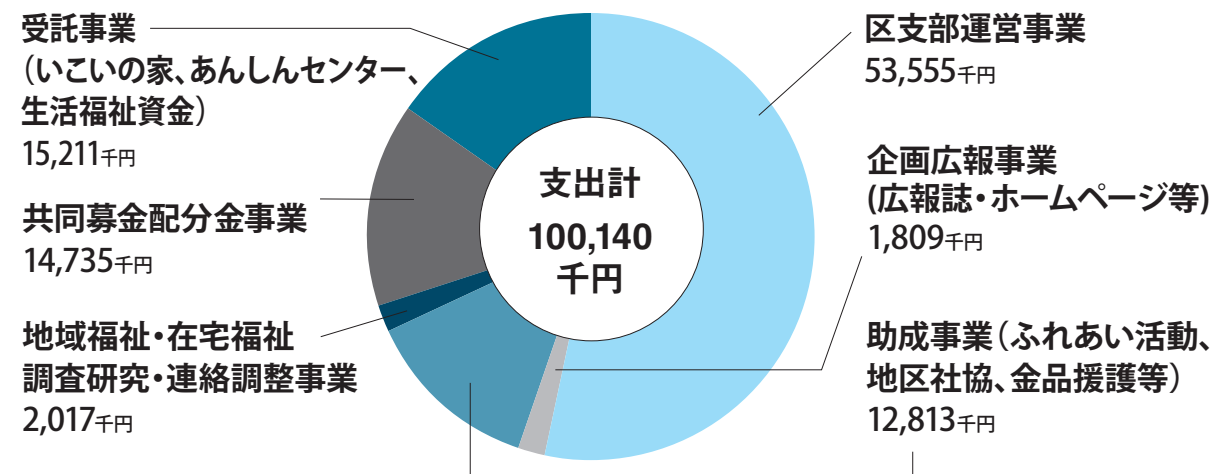
川崎区総合防災訓練において災害ボランティアセンターの啓発活動を実施します。
川崎市総合防災訓練に職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営訓練を行うとともに、関係機関と連携し川崎区における運営方法の検討を行います。
地域住民を対象に、災害時のボランティアに必要な基本的な知識・技術を学ぶ講座を開催します。

令和5年度 予算

収入



支出



この広報紙は共同募金の配分金などを財源として発行しています。

チャレボラ2023開催のお知らせ

今年の夏休みはボランティアをしよう!チャレボラ2023の受講生を募集します!

たくさんのプログラムの中から自分が参加したいものを選んで、ボランティア体験をしよう!

川崎区では、特別養護老人ホームでのボランティア体験や、こどもたちとのカレー作り、障害者施設でのポッチャ体験等のプログラムを予定しています。

チャレボラ2022の様子



④写真洗浄の様子



③カレー作りの様子

川崎区で予定しているプログラム

- ① 広げよう認知症サポーターの輪◎特別養護老人ホームでのボランティア体験
- ② ふじみスポーツレクリエーション2023 障害者と交流しよう!
- ③ こども食堂でボランティア!こどもたちと一緒にカレーを作って遊ぼう♪
- ④ 知ろう!体験しよう!災害時のボランティア
- ⑤ 高齢者ミニデイサービスでのボランティア体験
- ⑥ おにぎりキャラバン にぎにぎおいしくボランティア体験 *New!*

対象

川崎市内在住・在学の学生
(小学生~大学生)

申込締切 6月18日



※詳細は、各学校を通して5~6月に配布されるチラシまたは本会ホームページ等をご覧ください。

夏休みだからこそ出来る体験と思い出づくりをしませんか?
皆様のご参加お待ちしております。

令和4年度 ボランティア講座&交流会を開催しました!

日時:令和5年3月3日(金) 10:00~11:30

場所:福祉パルかわさき大研修室(富士見1-6-3)

内容:『ボランティア活動~つながりをたやさない地域づくり~』/交流・情報交換

川崎区ボランティアセンターでは、3年ぶりにボランティア講座を開催しました。社会学博士である牧岡英夫先生を講師としてお招きして講演と、参加者同士の情報交換を行いました。

ボランティア活動に興味のある方や日頃から活動されている方、民生委員児童委員など、13名の参加がありました。

コロナ禍となり久しぶりの開催でしたが、講師の話に熱心に耳を傾けている皆さんの姿が印象的でした。また、情報交換では、講座に参加したきっかけと周辺環境で気になっていることを話し合いました。それぞれの活動や現状の課題等を皆さんで共有されていて、今後の活動に向けた良い交流の機会となっていたら嬉しく思います。

今後も川崎区のボランティア活動推進のため、講座を企画していきたいと思っておりますので、みなさまからのご要望もお待ちしております。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

この広報紙は共同募金の配分金などを財源として発行しています。

子どもの食糧支援 食糧でつなぐか輪さき区



お問い合わせ
川崎市川崎区社会福祉協議会
TEL:044-246-5500

川崎区社会福祉協議会では、令和2年3月からたじま家庭支援センターやふれあい館、行政などの関係機関と連携し、食事をとれているかが気がかりなご家庭のお子さん等に対して、食糧支援を行っています。

令和4年度は、長引く新型コロナウイルスや物価高の影響もあり、支援を必要としている家庭が増加傾向にある一方で、地域の方たちによる活動支援の輪が広がってきています。これまでの関係機関を通じた食糧のお届けだけではなく、地域の方の手によって、子どもたちと交流をしながら、「食糧の配付」をする活動（みんなのごはん等）が区内各所で始まってきています。

また、コロナ禍で休止していた子ども食堂が活動を再開されたり、新規で立ち上げのご相談をいただいたり、企業や社会福祉法人施設等による食糧の提供や運搬へのお力添えも増えており、地域全体の子どもへの関心が高まっていることを感じています。今後も地域のあらゆる方・団体等の関わりの中で食糧支援を実施しながら、地域全体で子どもの育ちを支える風土が広まっていけばと思います。

食糧支援へのご協力ありがとうございます

川崎区内外を通じて、さまざまな形で食糧支援の取り組みに関わってくださっている方たちがいます。食糧の寄付やいただいた食糧の保管・管理、支援先への運搬などを地域の数多くの企業や社会福祉施設、団体、個人の方にお手伝いいただき、食糧支援を継続することができました。今後も本取り組みにご賛同いただき支え合いの輪に加わっていただける方・団体が増えることを願っています。※令和2年3月～令和5年3月までに協力いただいた方・団体等を掲載しています（順不同）

企業・団体	個人の方
・神奈川東部ヤクルト販売株式会社 ・日本ゼオン株式会社 ・三井住友信託銀行 ・明治安田生命 ・川崎ライオンズクラブ ・株式会社大塚商会 ・末日聖徒イエスキリスト協会	・伊藤 久子様 ・平川 悦子様 ・工藤 美雪様 ・高橋 九三子様 ・池間 一仁様 ・ホイットニーマーシラス様
・国立研究開発法人新エネルギー産業技術開発機 ・JFEアクアサービス機器株式会社 ・味の素株式会社 川崎事業所 ・神奈川県川崎競馬組合 ・株式会社 丸若 ・株式会社 デイ・シイ ・一般社団法人川崎青年会議所 ・株式会社 横浜スタジアム	

社会福祉法人施設
・育桜福祉会 ゆずりは園 ・長尾福祉会 あんてろーぷ ・セイワ介護老人福祉施設桜寿園 ・社会福祉事業団 南部身体障害者福祉会館 ・母子育成会 ・川崎愛児園 ・かわさき地域生活支援拠点たじま ・馬島福祉会 特別養護老人ホーム大師の里 ・川崎労働者福祉協議会

地域団体
・大師第4地区民生委員児童委員協議会 ・大師第4地区社会福祉協議会 ・大師第3地区民生委員児童委員協議会 ・大師第3地区社会福祉協議会 ・大師第1地区民生委員児童委員協議会 ・大師第1地区社会福祉協議会 ・大師第2地区民生委員児童委員協議会 ・大師第2地区社会福祉協議会 ・中央第1地区民生委員児童委員協議会 ・NPO法人 ファンズアスリートクラブ



「みんなのごはん」始めました

子どもと地域の大人の出会いの場として「みんなのごはん」が区内各所で開催されています。「みんなのごはん」では、フードバンクや企業からの寄付、地域の方たちに家から持ち寄っていただいたお米やレトルト食品などを合わせた「もぐもぐセット」を配付しています。開催地域の子どもは誰でも参加可能です。

3月に行われた大師第4地区社協主催のみんなのごはんは、東門前1・2丁目の町内会館で開催され、たくさんの子どもたちが笑顔でボリュームたっぷりの食糧を重たそうに持ち帰っていく姿がとても印象的でした。

子どもたちの元気いっぱいの姿には、地域の方たちの顔もほころび、穏やかで、温かな雰囲気の中、配付は進んでいきました。

食糧を受け取ったお母さんからは「こんなにいただいてもいいんですか」という声上がり、地域の方たちの想いを重みとして感じていただけたのではないかと思います。

今後は、配付と合わせて一緒に遊んだり、おしゃべり等を楽しむ時間を作っていき、子どもと地域の大人の親しみの場となっていけばと思います。



食糧のご寄付を通じてSDGsに取り組んでみませんか？

ご家庭にある“買い過ぎてしまった”“いただき物で食べきれない”食糧などの寄付を引き続き募集しています。

- 注意点
 - ・未開封のもので、消費期限が1か月半以上残っている物をお願いいたします。
 - ・冷蔵・冷凍保存が難しいため、生鮮食品はお控えください。
- いただけると嬉しい物
 - ・精米、レトルトご飯・レトルト食品（カレー・牛丼・中華丼・親子丼など）
 - ・麺類（ラーメン、カップ麺、そうめん、そば、パスタなど）
 - ・スープ（お味噌汁、コーンスープなど）・離乳食、粉ミルク
 - ・缶詰（ツナ缶、フルーツ缶、おでん缶など）・お菓子（小袋入りのもの）



子ども食堂や食糧の配付活動をしてみませんか？

子ども食堂や食糧の配付などの活動をしてみたい方・団体等はぜひお電話ください。

立ち上げや運営、広報や関係機関とのつなぎ役としてご相談にのります。

興味はあるけど、なかなか一歩踏み出せない、そんな方からのご相談や活動の場の見学希望等も受け付けています。



特技や趣味を活かして子どもたちと交流しませんか？

子どもたちとお話したり、遊び相手をしたい方を募集しています。

特技や趣味を活かして子どもの笑顔を引き出してみませんか？

例) 昔遊び、お習字、楽器演奏、歌・音楽、外国語、絵、読書など



まずは食糧支援の話聞いてみたい、どんなことで協力できるか知りたい・考えたい！
そんな方はぜひお気軽にお電話ください。044-246-5500

各地区社協の事業内容

中央第1地区社会福祉協議会

- 地域福祉懇談会
- 芙蓉会(会食会)
- 健康講話
- 元気に歩こう会
- 敬老祝いの会
- 社会を明るくする運動
- 日帰り研修
- 福祉教育への協力 など



福祉教育への協力

中央第2地区社会福祉協議会

- 認知症予防カフェ「くるみクラブ」
- こども食堂「わいわいキッチン」
- 社会を明るくする運動
- 広報誌「きずな」発行(年2回)
- バス視察研修
- 地域福祉講演会
- 地域福祉懇談会 など



くるみクラブ

渡田地区社会福祉協議会

- 「ほのぼの会」「子育てサロンわたりだ」「見守りネットワーク」へ協力
- 少年野球大会、羽根つき大会等の開催 ●広報紙発行(年2回)
- 障害者施設にてボランティア活動
- はつらつ演芸大会
- 連合若竹会の行事関連
- ふれあい会食会の実施
- 地域福祉懇談会
- 社会を明るくする運動
- 福祉教育への協力



ほのぼの会

大師第1地区社会福祉協議会

- 地域福祉懇談会 ●地域福祉講演会 ●敬老行事
- 高齢者向けサロン「高齢者お茶飲みサロン」
- ふれあい会食会への協力
- 子ども食堂「にこにこだるまさん」
- 広報紙「地域だより」発行
- 社会を明るくする運動
- 日帰り視察研修会
- 子どもの食糧支援 など



にこにこだるまさん

大師第2地区社会福祉協議会

- 地域福祉懇談会
- カローリング大会・ポッチャ体験
- ふれあい会食会
- 生き生き茶防
- 広報誌「きずな」発行
- 社会を明るくする運動
- 役員研修会
- 子どもの食糧支援 など



ポッチャ大会

大師第3地区社会福祉協議会

- 地域福祉懇談会
- 敬老行事
- ふれあい会食会の実施
- 福祉教育への協力
- ほほえみ元気体操
- 社会を明るくする運動
- 子どもの食糧支援
- 車イス体験 など



ほほえみ元気体操

大師第4地区社会福祉協議会

- 福祉教育への協力・支援(東門前小学校、大師小学校)
- 子どもの食糧支援、母親クラブへの支援
- 健康体操講座の開催
- ふれあい会食会の実施
- 広報誌「しあわせ」発行
- 大師いこい喫茶
- ほほえみ元気体操
- 社会を明るくする運動
- 敬老行事 など



こども食糧支援

田島地区社会福祉協議会

- 地域福祉講演会
- 広報紙発行
- カローリング大会
- ふれあい会食会
- みんなの輪運動会
- 地域福祉施設の見学会
- 社会を明るくする運動
- 福祉の集い など



福祉の集い

小田地区社会福祉協議会

- 地域福祉懇談会 ●敬老行事 ●あいさつ運動
- 地域福祉講演会の開催
- 男性の料理教室の開催
- 広報紙発行(年1回)
- 高齢者会食会への協力
- 福祉教育への協力
- 社会を明るくする運動
- 役員研修会の実施



地域福祉懇談会

地区社協トピックス



中央第2地区社会福祉協議会



中央第2地区社会福祉協議会では、子ども食堂「わいわいキッチン」を月2回開催しています。

地域の方と子どもたちと一緒にカレーライスを作り、食事をする取り組みから始まったわいわいキッチンは、コロナ禍においては食糧の配付での活動を続けてきました。

現在、第2金曜日は京町小学校の児童を対象として京町1・2丁目町内会館にて、第4金曜日は川崎小学校の児童を対象にかわさき老人福祉・地域交流センターで食糧の配布を実施しています。

配布は専用フォームからの事前申し込み制となっています。

お渡しの際には、受け取りに来た子どもたちや保護者の方の笑顔も多く見られ、明るく穏やかな雰囲気の中で活動を行っています。

今後は新型コロナウイルスの状況を鑑み、調理を伴う活動の再開も予定しています。活動が再開される際には、コロナ禍以前よりもさらに多くの方が食事を通じた交流の場として集える空間になっていくことを願います。



大師第2地区社会福祉協議会



大師第2地区社会福祉協議会では、認知症予防カフェとして『生き生き茶防』を実施しています。

活力ある生活を送ることができるという意味で「生き生き」、皆さんでお茶を飲む場所である「茶房」と認知症予防の「防」を組み合わせ「茶防」で、『生き生き茶防』という名称で活動しています。地区内の町内会館を会場として、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら、開催しています。

地域包括支援センターの職員さんから認知症に関する講話や手遊びを教えていただいたり、お茶を飲みながらお話しされたりととても明るい雰囲気の中で活動しています。生き生き茶防に参加して、久しぶりに友だちに会えて嬉しかったとの声も聞くことができ、地域の方々同士の交流の場になっています。

また、毎回ほほえみ元気体操を行い、皆さん気持ちよさそうに身体を動かされています。

今後も地域の認知症予防カフェとして、皆さんが気軽に交流でき、集いの場となるよう実施していければと思います。

